

平成25年度 真庭市表彰

過去最多の7人が受賞

平成25年度真庭市表彰の表彰式が3月25日、市役所本庁舎で行われました。真庭市表彰は、自治、産業、教育、文化、社会などの各分野で、市政振興に貢献し、市民の模範となる個人や団体に対して贈られるものです。市の各部局が候補者を推薦し、真庭市表彰審査委員会に諮り、決定しています。今回は、過去最高の7人が受賞されました。受賞された皆さんを紹介します。今後のさらなる活躍を期待しています。



村松寛映さん(五反)

フットサル

第3回全日本女子ユース
(U-15) フットサル大会
FCエフロンテ 3位



永田春樹さん(櫻東)

スキー

第9回 ATOMICジュニア
CUP決勝大会アルペン競技
(男子大回転) 2位



岩本由津穂さん(勝山)

書道

第3回全国青少年書き初め
大会(団体の部)
文部科学大臣賞



川端 晃さん(惣)

デュアスロン

ITUデュアスロン世界選手権
(65歳~69歳の部)
3位など



近藤唯奈さん(久世)

バレーボール

第43回全日本中学校バレーボール選手権大会
就実中学校 3位など



友金園実さん(蒜山西茅部)

スキー

第68回国民体育大会冬季大
会スキー競技会クロスカントリー(成年女子B) 3位



平方健太さん(上中津井)

ソフトボール

第68回国民体育大会ソフト
ボール競技(少年男子)
岡山県選抜 2位

市政TOPICS
トピックス

達成度と成果を評価し、課題と共に公表

部局経営目標

真庭市部局長会議が4月10日に市役所本庁舎で開かれました。同会議は、重要施策に関するとの審議決定や部局間の連絡調整などのために毎月行われており、平成26年度新体制になって今回が初開催。その中で、市役所の部・局でその年度の具体的な目標を「部局経営目標」として設定することを決定しました。その概要をお知らせします。

設定

地域経営をするという視点を持ち、部局ごとの目標を具体的に設定します。

目的

- 部局内の各課の相互連携を促進
- 部局全体で政策遂行の自覚を持つ
- 目標を公表し達成を約束する

作成者▶各部長、振興局・支局長、教育次長
危機管理監、会計管理者、議会事務局長
消防長、湯原温泉病院事務部長

ステップ
1

その年度の各部局の役割、ミッションを明確にし、それを踏まえた部局全体の経営方針を設定する。

ステップ
2

方針に沿った事業実施目標を立てる。
本庁各部は予算に計上している事業のうち主要なもの、振興局・支局は地域課題の解決として取り組む主要事業とする。

ステップ
3

目標達成を目指し、部局内の各課の相互連携を促進しながら、部局全体で政策を遂行する。

公表

設定した目標は真庭市ホームページで公表。また、年度終了時には、達成度と評価の結果、課題を同様に公表します。



ステージに掲げられたスローガン(題字は勝山高校書道部が製作)

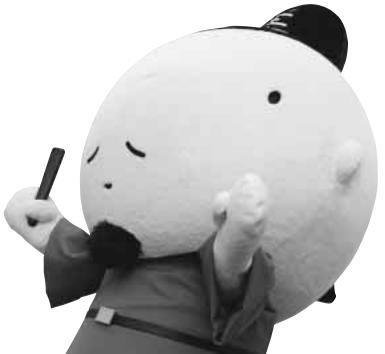
美作国建国1300年記念事業閉幕セレモニー 発展目指して新たな一歩



写真左：皆部っ子阿口っ子によるホタルミュージカル
写真右：「SOULはんざき」ダンスを披露した湯原はんざき連

1400年に向けて
踏み出すのじゃ!

念事業の閉幕セレモニーが3月21日、勝山文化センターで行われました。美作地域10市町村の関係者約千人が参加。建国1400年に向けたスローガンが発表され、地域のさらなる発展を目指すスタートとしました。また、美作地域の子どもたちによるパフォーマンスも披露され、歌や踊りなどで郷土のすばらしさや誇りを表現しました。



北房バイパス（下中津井～上水田間・延長2.6キロ）の開通式が3月28日に行われました。下中津井のバイパス起点に関係者や地域住民が集まり、北房中学校吹奏楽部の演奏やテープカットなどで開通を祝いました。国道313号の同区間は、幅員が狭い箇所がありカーブも多く、通学路にも指定されていたことなどから、岡山県が平成14年度工事に着手。上水田側に一部拡幅工事を残しており、平成26年度中に完成予定です。

国道313号北房バイパス開通式 主要道路が安全、快適に



テープカットなどで完成を祝った開通式



ファシリテーターのリズムに合わせて即興演奏

3月22日、たたいて体験！ドラムサークルが勝山文化センターで行われました。ドラムサークルは、集まつた親子ら約30人は、ファシリテーターというガイド役のリズムに合わせて、テンポや強弱を付けて太鼓をたたき、音で会話するように演奏を楽しみました。

打楽器演奏盛り上がる たたいて体験！ドラムサークル



市政に関する動きの一部を紹介します

3/28 真庭産業団地への新工場立地が決定

真庭木材事業協同組合の真庭産業団地への新工場建設が決定し、同社と岡山県、真庭市による立地協定式が行われました。新工場では、間伐材を中心収集・加工を行い、発電会社への燃料として供給する計画です。



4/1 3人目の協力隊に海野さん

地域おこし協力隊の委嘱式が本庁舎で行われ、東京都小平市出身の海野文雄さんに委嘱状が渡されました。真庭市の同隊員は海野さんで3人目。任期は最長3年間で、最初の2ヶ月間は市内の地域課題などを探ります。



4/5 高田城 新たな発見

高田城発掘調査現地説明会が行われ、市内外から約50人が参加しました。平成25年度事業の成果報告として、通路の区画をしたのではないかと思われる石積が発見されたことなどの説明が行われました。



市長室から
こんにちは!

動けば、つながる!

「地酒で乾杯条例」が制定された後、「地酒列車」を実施しました。津山と勝山間を鉄道で往復し、勝山の町を散策する企画で、好評でした。そのとき、真庭産ヒノキのおちょこを共同作業所で作った布袋に入れて記念品にしたのですが、その袋がある人の目に留まり、1,000袋の注文がありました。条例が共同作業所の仕事づくり、つまり福祉につながったのです。小さなことかも知れませんが、このように、動けばつながることに嬉しさを感じました。



園児ら約160人が出席した八束こども園開園式

河内こども園と八束こども園の開園式が4月4日に行われました。河内こども園は、既設の幼稚園と保育園を一つにした「幼保連携型」として開園。また、八束こども園は、保育園に幼稚園部を新設した「保育所型」で、市北部では最初の幼稚園機能を持つた施設となりました。市では、地域や保護者の就業状況によらず、平等な就学前教育を受けられる環境整備を進めており、市内の認定こども園は5カ所となりました。

河内こども園、八束こども園開園
平等な保育・教育環境に



認定授与式で今後の抱負を語る太田市長

4月9日、バイオマス産業都市の認定授与式が農林水産省（東京都）で行われ、太田市長が江藤農林水産副大臣から証書を手渡されました。バイオマス産業都市とは、地域のバイオマスを活用し、産業の創出などを目指す地域で、内閣府や農林水産省といった7府省が選定し、連携して支援を行います。市は昨年11月に行われた2次募集に応募。中国地方では、西粟倉村と島根県奥出雲町とともに初めて選ばれました。

バイオマス産業都市授与式
実績や計画を評価され選定